大宮小学校の宝物

緞帳の絵に寄せて
やなせ　たかし

土佐は海と山と太陽の国
眼の前は黒潮流れる
インディゴブルーの太平洋
そして四国山脈
物部川の清流
金色の柚子の実
山峡の空を流れる白雲
ぼくの少年時代の夢とあこがれは
この自然の中で育ちました
ありがとう！　故郷香北の山野
海を越えて飛ぶ
アンパンマンの一群は
ぼくの希望
緞帳の絵の中から
とびだして
みなさんの心の中へ
飛んでいけ！

２０２５年度、朝の連続テレビ小説で「あんぱん」が放映されることは、香美市、香北町、そして大宮小学校にとって大変嬉しい出来事です。本校には、やなせたかし先生から寄贈いただいた緞帳（どんちょう）があります。この緞帳の絵には、美しい香北の自然の中で様々な体験を通して、夢やあこがれを育んでほしいという、やなせ先生から子どもたちへのメッセージが込められています。

本校では、本年度、「あんぱん」プログラムと題して、各学年が、総合的な学習（ユニット）や各教科、道徳、特別活動など様々な学習の機会を通して、やなせ先生の生き方を学んだり、作品を味わったりする学習を計画しています。また、読書ボランティアの皆さんも、やなせ先生の作品を子どもたちに読み聞かせをしようと計画しています。

子どもたちには、この放映をきっかけに、やなせ先生のことを身近に感じるとともに、ふるさと香北のことをこれまで以上に好きになってほしいと思います。

美良布保育園は楽しい遊びがい～っぱい！

美良布保育園では０歳児から５歳児の子どもたち８６名が毎日元気いっぱい過ごしています。園生活の中心に遊びがあり、子どもたちは遊びを通して好奇心や探求心を養い、集中力や工夫する力、想像力、最後までやり遂げる力、コミュニケーション能力など様々なことを学んでいます。子どもたちの〝おもしろそう！〟〝やってみたい！〟という思いを大切に、ワクワクと心が躍るような楽しい遊びをいっぱい経験してほしいと思っています。

▲絞り染めのハンカチをつくったよ。ゴムをほどいてハンカチを広げた時の子どもたちの歓声！

▲友だちと一緒に土だんご作りに夢中です。土だんご作りは根気や集中力のいる遊びです。

▲水の感触を楽しむ子どもたち。どうやったら水を遠くにとばせるかな？

▲お散歩大好き！「カニさんいないかな」川の中をじ～っとのぞき込む子どもたち。

鏡野中学校区『みんなであいさつ運動』実施中！

毎月２０日　※土・日・祝日の場合は翌平日に実施します

さらなる高みへ

学校教育目標「人間を大切にする」
～自分らしく自分で動き探究する～

小中学校９年間を一貫教育で繋ぐことにより、探究心、知識、思いやりに富んだ児童生徒を育成するとともに、地域を巻き込み、香北地区を盛り上げることを目指し、令和６年度から大宮小学校・香北中学校の学校教育目標を統一しました。

◆国際バカロレアの特色ある取組

本校は国際バカロレアＭＹＰ（ミドル イヤーズ プログラム）の認定校として２年目を迎え、候補校に認定されて以来、ＩＢ教育を始めて４年目となりました。そのＩＢ教育には、いくつか特色ある取組がありますが、その中の「ＩＤＵ（教科統合型学習）」について紹介します。

ＩＤＵとは、１つの教科の学習だけでなく、２つ以上の教科の知識や考え方を理解し、それらを統合して新たな知識を創造するプロセスです。具体的な取組については、右の図をご覧ください。

特色ある取組　（IDU：学際的単元）

Middle Years Programme

１つの教科の学習だけでなく、２つ以上の教科の知識や考え方を理解し、それらを統合して新たな知識を創造するプロセス。

令和５年度の実施例

国語　学際的単元　社会

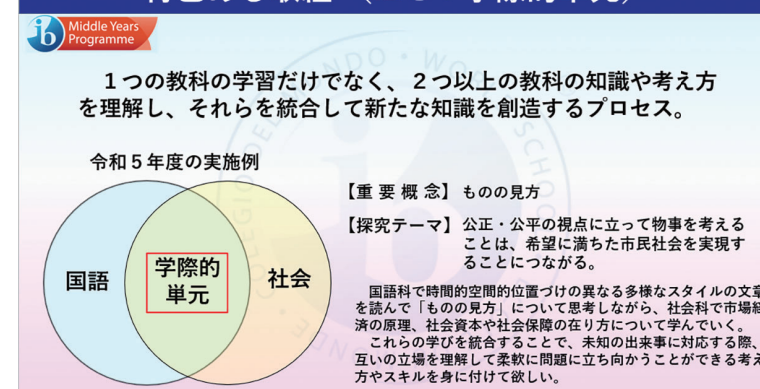
【重要概念】ものの見方

【探究テーマ】公正・公平の視点に立って物事を考えることは、希望に満ちた市民社会を実現することにつながる。

国語科で時間的空間的位置づけの異なる多様なスタイルの文章を読んで「ものの見方」について思考しながら、社会科で市場経済の原理、社会資本や社会保障の在り方について学んでいく。

これらの学びを統合することで、未知の出来事に対応する際、互いの立場を理解して柔軟に問題に立ち向かうことができる考え方やスキルを身に付けて欲しい。

ＩＤＵに取り組んだ生徒の学習後の振り返りには、「広い視点で考えることは、意見の相違が原因で起こる対立を防ぐのに必要不可欠な姿勢だと思った。」「『妥協の必要性』と『折衷案（せっちゅう）の重要性』をより深く認識したいと思った。」などの学びの記述が見られました。

このようにＩＢ教育では、物事の見方や考え方を様々な角度から捉えることで、多様性への理解など世界に羽ばたける人材育成を行っています。これまで以上に保護者の皆さんや地域の方々のご支援をいただきながら「香北だからこそできるＩＢ教育」をさらに推進し、本校で学んだことが生徒の将来の生活や課題解決に活かされることを強く願っています。

◆高知工科大学留学生との交流授業（英語科）

▲交流授業の様子

６月１３日に、工科大の留学生との交流授業が３年生を対象に行われました。留学生の皆さんに、高知での生活において困っていることを生徒が英語で質問しました。そのやりとりを通して、生徒が行動することで解決できそうなものに対しては、案を考え実際に行動に移して、留学生に高知での生活をより快適に送ってもらおうと取り組んだものです。留学生の方々の人柄も大変よく、生徒は緊張しながらも質問や会話することに臆することなく、懸命に聞き取ろうとする姿を見せていました。

◆大川上美良布神社の輪抜けの準備作業

▶準備作業の様子

６月２９日、大川上美良布神社の皆さんの協力を得て、２・３年生が輪抜けの準備作業のお手伝いをしました。地域の子どもが地域の伝統文化に直接触れながら、地域貢献活動に携われる貴重な経験を積むことができました。なお、この作業の様子は、高知県文化広報誌「とさぶし」第４７号にも掲載されますので、ぜひご覧ください。